

No.1 1992.7

(社)日本鋳物協会関東支部

発行 (社)日本鋳物協会関東支部  
 事務所 東京都江東区永代2-19-7  
 (株)瓢屋内 〒135  
 電話 : 03-3641-4121  
 F A X : 03-3641-4138  
 編集責任 支部長 神尾彰彦  
 印刷所 三和プリント有限会社



# 支部だより

## 平成4年度通常総会開かる

5月18日(月)14:30から東京工業大学百年記念館3階講堂において平成4年度の(社)日本鋳物協会関東支部の通常総会が開催され、約60名の会員が参加した。

平成3年度事業報告、同収支報告、監査報告、平成4年度事業計画、同収支予算等の議案がいずれも満場一致で承認され、平成4・5年度役員も議長提案通り承認され、新役員の互選により東京工業大学神尾彰彦教授が新支部長に選任されて、総会の議事は滞りなく終了した。

神尾新支部長の就任の挨拶があり、引続いて榊原支部長から木下義孝理事(支部会計担当)、岡田千里理事(支部長代行)に支部功績賞、鈴木敏夫氏(支部事務局担当)に感謝状の贈呈があり、さらに神尾新支部長から榊原前支部長に記念品が贈られた。

15:00から恒例となった加山記念講演(第4回)



として近藤展啓理事の司会で千葉工業大学の野篤美教授の「OCCプロセスの開発とその応用」の特別講演があり、一方向凝固連続鋳造法の研究経過と実用化に至るまでの興味深い内容で、参加者一同感銘を受け、活発な質疑もかわされた。

17:00から場所を2階の会議室に移し、懇親会となり、お互いに酒を酌み交わし、旧交、新交を温め、関東支部の将来を語り、時の経つのを忘れたが、18:30菊地政郎前々支部長の音頭で手締めとなり、盛會裡に散会した。(玉崎洋一)

## 支部長に就任して



(社)日本鋳物協会関東支部長  
神尾彰彦

このたび、平成4・5年度の関東支部長に選任され、就任することになりました。本支部は昭和46年に故加山延太郎支部長の手で創設されて以来、

牧口利貞、雄谷重夫、草川隆次、滝勇、堤信久、故奈良秀夫、故阿部喜佐男、菊地政郎、榊原廣の歴代各支部長(敬称略)が築き上げてこられましたご業績を思いますに、まさに身に余る大役であり、身の引き締まる思いであります。

さて、今日の関東支部は東京、神奈川、埼玉、千葉、茨城、栃木、群馬、山梨、新潟(昭和63年に合併)の1都8県を含む支部となっております。関東支部には、現在会員930名(全会員3531名)、維持会員182事業所(全国で498事業所)が所属しており、鋳物協会の中ではもっとも大きな支部であります。

支部の組織としましては、40名の理事と2名の監

事による理事会があり、総務、研究、現場鋳造技術研究、YFE(若手鋳造エンジニア)の4部会が設置されており、それぞれ講演会、シンポジウム、講習会、見学会などを企画、開催しております。また、日常の運営、会計、各部会相互の連携などの庶務的な仕事を行うため、各部会の部会長を主体とした運営理事会が設けられております。

各部会の行事の他に、日本鋳物協会本部主催で関東支部が担当し運営する大きな事業としては本年11月12~13日に川口市で開催される第4回鋳物現場技術大会と、来年5月25~28日に東京都で開催される第122回全国講演大会があります。この2つの大きな事業の遂行のためには、多大かつ周到な準備が必要であり、すでにその準備が始まっております。

関東支部では支部活動の活性化、ひいては日本鋳物協会全体、そして鋳物の研究と生産の高揚に努めたいと存じておりますので、会員の皆様には是非これらの行事や事業に積極的にご参加いただきたいと思っております。皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。

## 平成4年度の各部会の活動内容

### 総務部会

このたび神尾新支部長のご意向により、研究、現場鑄造技術研究、Y F Eの各部会と同様、支部活動の発展と活力ある支部運営を円滑に進めるため従来の「総務担当」から「総務部会」と名称を改めました。

総務部会の業務としましては、広報活動として「支部だより」の編集企画、支部活動の年次計画、全国講演大会に向けての企画や計画などをはじめ、庶務、会計が主なものとなります。また、支部理事、運営理事会はもとより、各部会とも密な連携を図りたいと思っております。

当部会の最初の仕事として、関東支部会員の皆様へ、支部活動の現況やニュースなどをお知らせするために「支部だより」を発行することになりました。何分にも初めての試みですが、会員の皆様にご満足いただける情報を提供すべく、総務部会一同頑張りたいと思っております。

また、充実した「支部だより」を継続して発行できますよう、会員の皆様よりのご意見・ご要望をお待ちしております。  
(野口昌彦)

### 研究部会

研究部会という名前から見ると、特定テーマでの継続的な研究会を想定されると思いますが、年3回の講演会が主な活動です。会員、とくに若い人の研鑽、技術向上を図るため、自由な討議の場を提供するものです。

平成4年1月に支部理事へのアンケート調査の結果でも、これまでの進め方でよいということでしたが、「鑄造以外の関連分野のテーマも」との意見や具体的テーマの提案も頂きました。今後順次実施に移して行きます。

次回の研究会開催予定は次のとおりです。

テーマ：過共晶高Si急冷凝固アルミニウム焼結鍛造

講師：三菱マテリアル(株) 河野 通氏

日時：平成4年9月29日(火) 15:00～17:00

場所：機械振興会館 6F 67号室

鑄物協会誌8月号、9月号の会告を見て下さい。

(近藤展啓)

### Y F E部会

次代を担う若手鑄造エンジニア(Young Foundry Engineer)の育成と広い交流を目的に、諸行事を企画しています。同封したアンケートもY F Eに役立つ活動を企画するためのものです。ご協力をお願い申し上げます。

第1弾の行事として「若手鑄造エンジニアによるシンポジウム」を下記のとおり実施することにし、鋭意準備中です。鑄物協会誌9月号、10月号で細目をご案内申し上げます。若手の方々の積極的なご参加と、上司の方々のご配慮をお願い申し上げます。

#### ●若手鑄造エンジニアによるシンポジウム

日時：平成4年10月30日(金) 14:00～18:30

会場：大宮ソニックシティ8F 802,803,804会議室

①鑄造工場へのパソコンの応用

②アルミニウム合金鑄物の高品質化

③鑄鉄の新しい活用

懇親パーティー：17:00～

参加費：5,000円

(伊藤光男)

### 現場鑄造技術研究部会

昭和47年本研究会発足にあたって故加山延太郎先生曰く「学問に偏して現場から遊離しないように、身近な問題をみんなで討議し、勉強する。多人数の改まった場でなく、突っ込んだ討議ができるクロード方式の会員制とする。」

当時のメンバー7社が現在は18社となりましたが、この方式は継続されています。たとえ小人数(20～30名)とはいえ、他社のベテランの前での発表には、発表者も苦勞していますが、運営側としては恥をかかせないよう十分留意しております。

現場で困ったことが起きた時、コメンテーターに聞いたり、メンバー同士で教え合ったりする動機にもなっています。

本年度は7月、11月、来年3月と3回予定しています。メンバーになりたいが、その前に一度参加したいというご希望の向きにはご案内します。

どこの現場にも不良はあるのだという安心感?でCrisis is Chanceの心根が醸しだされる研究会でありたいと念じております。  
(永瀬昭平)

## 平成4・5年度(社)日本鋳物協会関東支部理事・監事

神尾彰彦*	東京工業大学 工学部金属工学科 教授	支部長
赤塚芳雄	日立金属(株) 真岡工場 品質保証課長	現場技術
出津新也	自動車鋳物(株) 土浦工場 研究開発部 課長	YFE・現場技術
上野晴信	後藤合金(株) 常務取締役	研究部会
臼井弘武	臼井軽合金技術研究所 代表取締役	研究部会・現場技術
梅田高照	東京大学 工学部金属工学科 教授	研究部会
梅村晃由	長岡技術科学大学 機械系 教授	研究部会
大島俊彦	(株)日立製作所 素形材事業部長	研究部会
大谷利勝	日本大学 生産工学部機械工学科 教授	本部理事
岡田千里*	日立金属(株) 素材研究所 技術参与	YFE部会長・現場技術
川原正史	三菱自動車(株) 東京自動車製作所 鋳造課長	現場技術
河村典雄	新日本製鐵(株) 製鋳技術部 部長代理	研究部会
桑原明生	(株)リケン 取締役素形材事業部長	本部理事
日下琢巳	(有)日下レアメタル研究所 取締役社長	研究部会
近藤展啓*	コマツ 技術本部 主幹	研究部会長・本部理事
佐藤雄三	(株)明賀屋鉄工所 代表取締役社長	YFE
鈴木敏	日野自動車(株) 鋳造部長	総務部会
田中稔秀	日産ディーゼル鋳造(株) 鴻巣工場 部長	総務部会
田村朗	川崎重工(株) 破碎機事業部 開発部 主査	総務部会・YFE・編集委員
高橋忠生	日産自動車(株) 第一技術部 次長	研究部会・総務部会
谷岡慶一	いすゞ自動車(株) 藤沢工場技術企画室 部長	現場技術
玉崎洋一*	玉崎技術事務所 所長	YFE・総務部会
中江秀雄	早稲田大学 理工学部材料工学科 教授	研究部会・現場技術・本部理事
永瀬昭平*	川口内燃機鋳造(株) 取締役技術部長	現場技術部会長
永瀬利男	(株)永瀬留十郎工場 専務取締役	YFE
中村友治	SPR(株) 代表取締役	YFE・現場技術
生井亨*	科学技術庁金属材料技術研究所 主任研究官	総務部会・協会副会長・本部理事
滑川剛三	(財)素形材センター 技術部長	研究部会
野口昌彦*	埼玉県鋳物機械工業試験場 機械部長	総務部会長・YFE・現場技術
萩野谷生郎*	東京都立工業技術センター 金属部長	総務部会・本部理事
旗野秀雄	内外マリアブル(株) 取締役社長	総務部会
蜂谷一郎	エムシー礦産(株) 常務取締役	総務部会
花土昌三	日本鋳造(株) 常務取締役	総務部会
日比野高三	(株)東芝 部材企画室 部長	現場技術
細川大学*	(株)瓢屋東京支社 取締役支社長	総務部会
前田英三	(株)新潟鉄工所 新潟鋳造工場長	現場技術
望月文雄	(株)池貝 取締役川口工場長	現場技術
茂木徹一	千葉工業大学 金属工学科 教授	研究部会
本潤祥三	相模鋳造(株) 常務取締役	現場技術
渡辺博美	コマツ 小山工場 鋳造部長	現場技術
榎本新一	(株)榎本鋳工所 代表取締役	監事
菊地政郎	(社)日本鋳物協会関東支部 前支部長	監事

\*印は運管理事

## (社)日本鋳物協会本部・関東支部開催行事予定表

開催月日	行 事 名	開催地	主 催	「鋳物協会誌」 会 告
平成4年 9月3日(木)、4日(金)	平成4年度技術賞・豊田賞受賞記念講演 会及び工場見学会	浜松市	本部	6月号
9月20日(日)～25日(金)	第59回国際鋳物会議 (ブラジル)	サンパウロ市	CIATF	1月号
9月29日(火)	研究部会「過共晶高Si急冷凝固アルミニ ウム焼結鍛造」	東京都	関東支部	8、9月号
10月12日(月)	技術講習会「鋳物工場における産業廃棄 物の処理と利用」	仙台市	本部	6月号
10月13日(火)、14日(水)	第121回全国講演大会	仙台市	本部	6月号
10月14日(水)	第1回アジア鋳物会議	仙台市	本部	6月号
10月15日(木)	工場見学会 (5班)	仙台市	本部	6月号
10月30日(金)	若手鋳造エンジニア (YFE) によるシ ンポジウム	大宮市	関東支部	8、9月号
11月12日(木)～13日(金)	第4回鋳物現場技術大会	川口市	本部	9、10月号
11月中旬 (日未定)	現場鋳造技術研究会	東京都	関東支部	
平成5年 1月下旬 (日未定)	研究部会「題未定」	東京都	関東支部	12月号 (予定)
3月中旬 (日未定)	現場鋳造技術研究会	東京都	関東支部	
5月25日(火)	技術講習会「鋳物の高付加価値化につい て (仮題)」	東京都	本部	1月号
5月26日(水)、27日(木)	第122回全国講演大会	東京都	本部	1月号
5月26日(水)	平成5年度通常総会	東京都	本部	1月号
5月28日(金)	工場見学会	東京都	本部	1月号

詳細についての問い合わせ先 本部主催：03-3541-2758 関東支部主催：03-3641-4121 (生井 亨)

### 編集後記

今年はいつになく長梅雨となり、日照不足が心配です。その雨に付き合っの編集となりました。関東支部としては初めての「支部だより」ですが、今後は年2回のペースで発行していきたいと思ひます。

第1号は支部総会、支部長挨拶、支部役員、活動内容、行事予定などで纏めました。皆さんのご協力で原稿はすぐ集まったのですが、むしろ4頁きっかりに入れるのに苦勞しました。不慣れなことばかり

で、印刷屋さん泣かせになったのではないかと反省しております。内容、体裁など会員の皆様のご意見を支部事務局までお寄せ下さい。

また同封しました「YFEの集い」アンケートはYFE部会および同企画会議の手になるもので、YFEの今後の活動の方向づけと、さらに支部活動の活性化にも役立てたいと思っております。ご回答をお早めにご投函下さい。(玉崎洋一)